


DT003 塩素(Cl_2)



実寸(約10cm)

感度	3 mg/m ³
吸引量	ハンドポンプ 10 回吸引(1 回 100 mL), 自動ポンプ 1 リットル(1L)
色変化	塩素が存在する場合: 黄色から赤色に変色します。 
反応原理	塩素[chlorine]と臭化カリウム[potassium bromide]の反応により臭化物[chromogen reagents]が生成され、フルオレセイン[fluorescein]と反応して赤色に発色します。
解説	検知管は発色試薬(臭化カリウムおよびフルオレセイン)を含浸させたシリカゲルの指示層で構成されています。
検出方法	①検知管の両端を折る。 ②ハンドポンプで10 回(1 回 100 mL)または自動ポンプで1L 空気を送る。 ③色の変化を確認する。
選択性	臭素[bromine]や二酸化窒素[nitrogen dioxide](高濃度)などの他の強力な酸化試薬も同様に反応します。
干渉性	高濃度の酸性ガスや蒸気の影響によって影響を受ける。
温度	10～50 °C
湿度	10～95 %で利用可能